

地域経済動向レポート

調査時期	2024年1月			対象期間	2023年10月～12月	
対象事業所	<b>小規模事業者対象</b> ①振興モニター 181件 (うち回答93件)      ②市内金融機関取引先19件 (うち回答19件)					
全産業合計	112件 ※全調査対象200件 中回答112件 = 回収率56.0%					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	15	34	6	15	34	8
付帯調査	【付帯調査】電子帳簿保存法の対応はできていますか？					

【全体の動向】

市内小規模の売上DIは（前回△6.9→今回△2.7）とマイナス幅減少の見通し。

中小機構実施の全国小規模の業況判断DIは（前回△13.7→今回△20.8）とマイナス幅拡大、先行きはマイナス幅縮小の見通し。

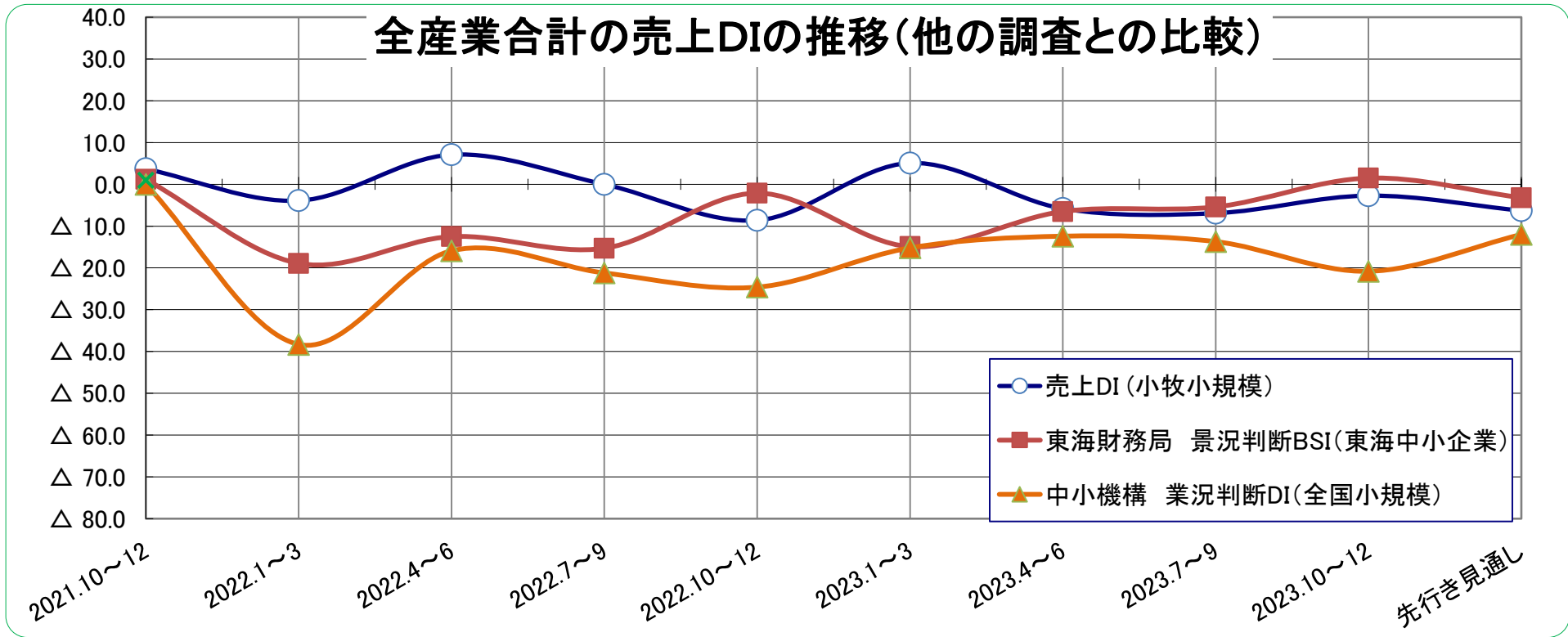
東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断では好転（前回△5.4→今回1.5）し、先行きは悪化の見通しで、全国に比較すると市内小規模も含め東海地方の中小企業は全国に比べ大きく改善傾向にある。

※DI = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

# 地域経済動向レポート

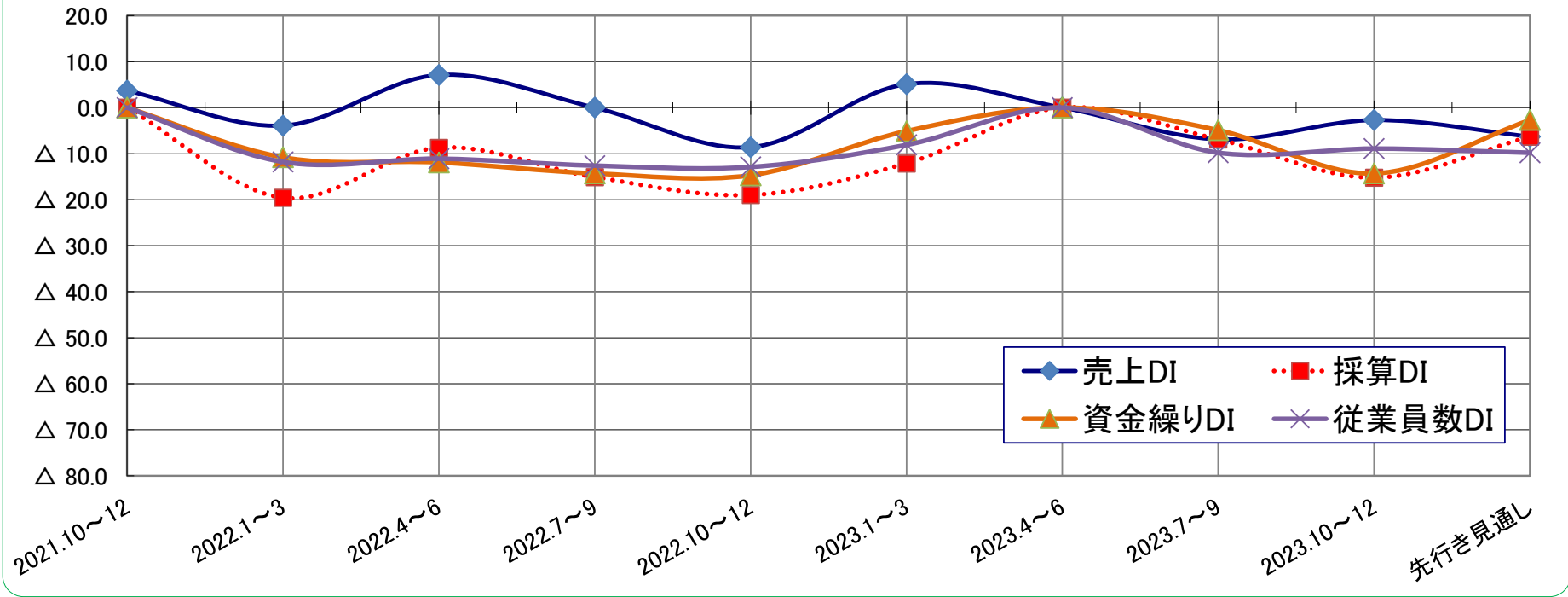
## 【全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ① **売上D I** は2023年7～9月の調査より全体的にマイナス幅が縮小（前回△6.9→今回△2.7）したが、先行きは再びマイナス幅が拡大の見通し。
- ② **採算D I** はマイナス幅が縮小（前回△6.9→今回△15.2）したが、マイナス幅が縮小の見通し。
- ③ **資金操りD I** もマイナス幅が拡大（前回△4.9→今回△14.3）したが、マイナス幅が縮小の見通し。
- ④ **従業員D I** は、不足の傾向は微増（前回△9.8→今回△8.9）で、マイナス幅が若干縮小の見通し。



調査実施月	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	
調査期間	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	△ 6.9	△ 2.7	△ 6.3
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△26.0	△ 38.3	△ 15.9	△ 21.2	△ 24.6	△ 15.2	△ 12.4	△ 13.7	△ 20.8	△ 12.0
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	1.2	△ 18.9	△ 12.5	△ 15.3	△ 2.1	△ 14.9	△ 6.5	△ 5.4	1.5	△ 3.2

### 全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査実施月	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	
調査期間	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	先行き見通し
売上DI	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△5.8	△ 6.9	△ 2.7	△ 6.3
採算DI	△0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△15.7	△ 6.9	△ 15.2	△ 6.3
資金繰りDI	0.0	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△9.1	△ 4.9	△ 14.3	△ 2.7
従業員数DI	△11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△8.3	△ 9.8	△ 8.9	△ 9.8

地域経済動向レポート

●売上DIの推移

調査実施月	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	
調査期間	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	先行き見通し
全産業	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	△ 6.9	△ 2.7	△ 6.3
建設業	5.6	0.0	4.8	△ 4.3	△ 15.0	0.0	15.0	0.0	20.0	△ 20.0
製造業	19.2	0.0	15.0	0.0	20.0	3.3	8.6	△ 6.7	△ 8.8	0.0
卸売業	△ 30.8	△ 33.3	△ 12.5	△ 16.7	△ 36.4	28.6	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7
小売業	42.9	△ 25.0	△ 4.2	△ 8.0	△ 29.4	△ 31.3	△ 20.0	△ 23.5	△ 33.3	△ 13.3
サービス業	△ 14.3	8.0	20.0	9.5	△ 12.0	20.0	△ 8.8	14.3	20.6	△ 2.9
その他	12.5	16.7	△ 12.5	25.0	△ 25.0	37.5	△ 50.0	△ 57.1	△ 37.5	0.0

【POINT】売上DIは、建設・サービス業で大幅に悪化、他の業種ではマイナス幅の縮小・改善の見通し。

●採算DIの推移

調査実施月	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	
調査期間	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	先行き見通し
全産業	△ 0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 6.9	△ 15.2	△ 6.3
建設業	0.0	△ 15.0	△ 14.3	△ 21.7	△ 15.0	△ 11.1	10.0	△ 11.8	△ 6.7	△ 20.0
製造業	11.5	△ 7.4	2.5	△ 11.1	2.9	△ 20.0	△ 14.3	△ 3.3	△ 20.6	△ 5.9
卸売業	△ 30.8	△ 66.7	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.3	14.3	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3	0.0
小売業	21.4	△ 50.0	△ 20.8	△ 28.0	△ 29.4	△ 12.5	△ 25.0	△ 23.5	△ 13.3	6.7
サービス業	△ 7.1	△ 4.0	8.0	△ 4.8	△ 40.0	△ 15.0	△ 17.6	14.3	△ 5.9	△ 8.8
その他	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 42.9	△ 37.5	0.0

【POINT】採算DIは、建設・サービス業ではマイナス幅拡大、他の業種では大幅に改善の見通しの見通し。

地域経済動向レポート

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	
調査期間	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	先行き見通し
全産業	△0.9	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	△ 4.9	△ 14.3	△ 2.7
建設業	16.7	10.0	△ 4.8	0.0	△ 15.0	0.0	0.0	△ 5.9	△ 6.7	△ 6.7
製造業	△7.7	△ 14.8	△ 15.0	△ 11.1	△ 5.7	△ 13.3	△ 11.4	△ 3.3	△ 20.6	0.0
卸売業	△38.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 18.2	0.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7	0.0
小売業	△14.3	△ 33.3	△ 12.5	△ 20.0	△ 23.5	△ 6.3	△ 10.0	△ 23.5	△ 20.0	0.0
サービス業	10.7	8.0	0.0	△ 19.0	△ 16.0	0.0	△ 2.9	10.7	△ 8.8	△ 5.9
その他	12.5	△ 16.7	△ 12.5	△ 12.5	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 14.3	△ 12.5	0.0

【POINT】 資金繰りDIは建設・サービス業は不変、他の業種では改善の見通し。

●従業員DIの推移（小規模）

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値になる様変更しました。

調査実施月	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	
調査期間	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	先行き見通し
全産業	△11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.8	△ 8.9	△ 9.8
建設業	△33.3	△ 25.0	△ 23.8	△ 26.1	△ 15.0	△ 11.1	△ 15.0	△ 23.5	△ 20.0	△ 20.0
製造業	△15.4	△ 11.1	△ 12.5	△ 11.1	△ 20.0	△ 6.7	△ 8.6	△ 10.0	△ 8.8	△ 8.8
卸売業	△7.7	△ 25.0	△ 12.5	△ 16.7	0.0	△ 28.6	0.0	0.0	△ 16.7	△ 16.7
小売業	7.1	0.0	4.2	△ 8.0	△ 5.9	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	△ 6.7
サービス業	△3.6	△ 4.0	△ 16.0	△ 9.5	△ 16.0	△ 5.0	△ 5.9	△ 10.7	△ 5.9	△ 5.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	△ 12.5

【POINT】 従業員DIは、小売では人員不足に陥り、他の業種では不足感のまま変化がない見通し。

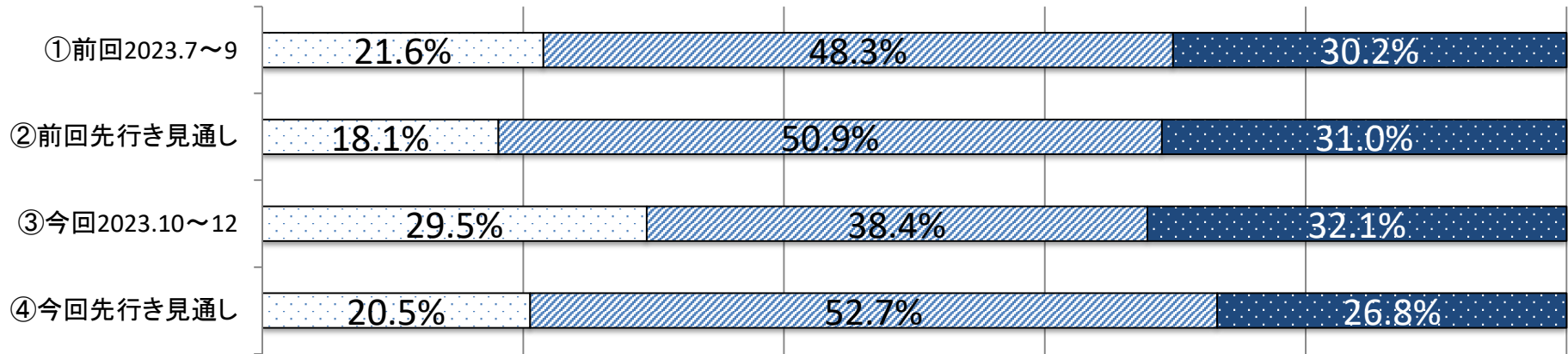
## 地域経済動向レポート

### 業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	従業員も増え、工業工事も今年は多く、安定。 / 舗装工事
	先行き	単価が低い仕事が重なった。 / 大工工事
製造	現状	主要取引先からの受注が回復しつつある。一方、原材料等の負担増への対応に苦慮している。 / 食品製造
	先行き	ズれていた大口受注が動き始めました。 / 金型設計・製作
卸売	現状	見通しの段階では落ち込むと思っていたが、お客が新規事業を立上げの設備投資、定期メンテナンスの導入したことによるものが大きい。 / 産業用機器卸売
	先行き	引合件数及び固定費の減少が見込める。工作メーカーの受注が減っている（国内・海外）が当社は受注案件が増加傾向にある。 / 工作機械卸
小売	現状	商品の利益率が良くなった。 / 青果小売
	先行き	春、新築、リフォーム、買い替えのお客様が見込める。 / 家具小売
サービス	現状	コロナも5類に移行し徐々に景気も回復していると思われる。 / 測量
	先行き	来客数も増えてきており、売り上げ増加も見込めるが、仕入れ費用が上昇しており、収益は悪化すると予想される。 / 和食全般飲食
その他	現状	燃料代の高止まり。 / 一般貨物自動車運送
	先行き	入居者が決定し、今後、学生などが入居する見込み。 / 不動産業（アパート経営）

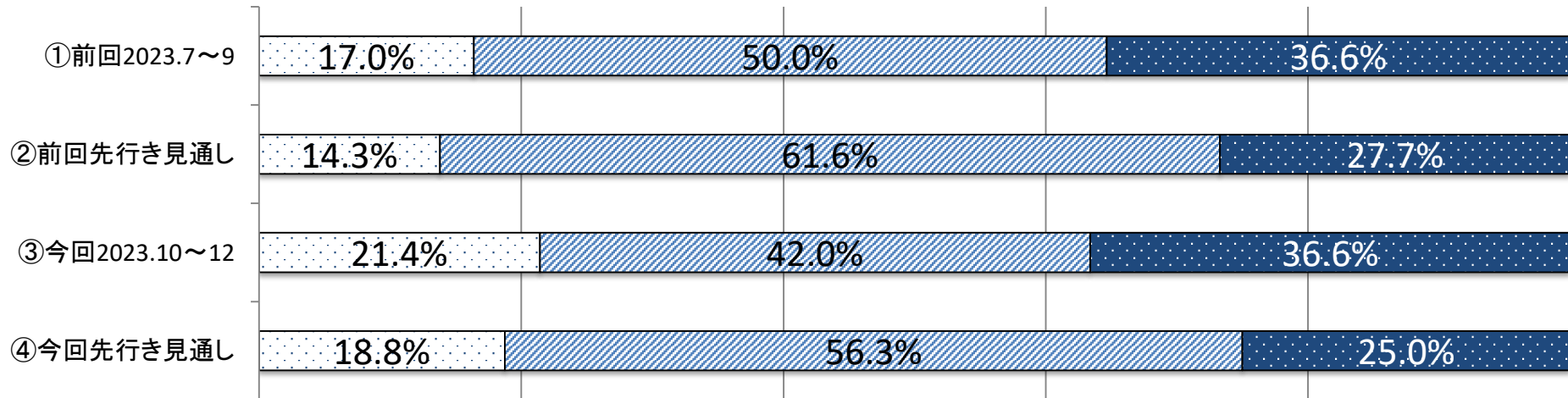
### 小規模の売上(回答割合)

□ 増加   ■ 不変   ■ 減少



### 小規模の採算(回答割合)

□ 好転   ■ 不変   ■ 悪化





付帯調査 電子帳簿保存法の対応はできていますか？

